

岡田宮

— (宝永四年) 一七〇七年 貝原益軒書 —

神宮大麻と氏神さまのお神札を
おまつりしまししょう

◆神宮大麻

神宮大麻は、伊勢の

神宮において丁重なおまつりを重ねて奉製され、氏神さまを通じ、神職や総代さんにより私たちの家庭に毎年お配りされています。



古殿地から望む皇大神宮御正宮

◆神宮

伊勢の神宮は、古くから「お伊勢さま」と親しまれ、皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)を中心とする日本で最も貴いお宮です。

天照大御神をおまつり申し上げる「内宮」は、皇室の御祖先神として尊ばれ、また、国民総氏神として仰がれています。

豊受大御神をおまつり申し上げる「外宮」は、衣食住、ひいては産業の守り神としてあがめられています。

とこしへに国まもります天地の

神の祭をおろかにすな

明治天皇御製

「お伊勢さん」「お正月さん」として親しまれている天照大御神のお神札です。

古来から私達はお正月を迎えるにあたり家の内外を払い清め身も心も清らかにしてまいりました。

そして新しいお神札をおまつりし、家族の幸せを祈ってきました。毎年お受けするのは大御神様のお蔭をかさねていた、ただけるようにとの信仰によります。

新年を迎えるにあたり神宮大麻と氏神様のお神札を神棚におまつりし、佳き年をお迎え下さい。

第28号

平成11年11月吉日
発行 岡田宮社務所
北九州市八幡西区岡田町1番1号
郵便番号 806-0033
電話 (093) 621-1898
FAX (093) 621-5330

第5回 岡田神社書道展



●会期
平成11年 7月25日(日)
7月31日(土)

●表彰式
平成11年 7月29日(木)

●総出品点数
於、岡田宮本殿
804点

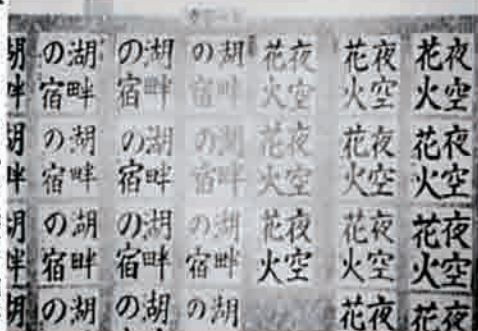
岡田宮賞

総代会長賞

- | | | | | | |
|----|----|----|----|-------|----|
| 小1 | 村上 | 夏希 | 小2 | 廣岡 | 美香 |
| 小2 | 櫻井 | 加織 | 小3 | 木村 | 聡美 |
| 小3 | 櫻井 | 寛子 | 小4 | 高崎百合絵 | |
| 小4 | 池田 | 香織 | 小5 | 吉田 | 希望 |
| 小5 | 中山 | 史蘭 | 小6 | 林 | 康史 |
| 小6 | 櫻井 | 聖子 | 中1 | 神菊 | 真弓 |
| 中1 | 原田 | 友絵 | 中3 | 天野 | 知佳 |
| 中3 | 前田 | 愛佳 | 中3 | 山下真裕子 | |

特選

- | | | | | | |
|----|--------|----|----|-------|-----|
| 小1 | 池田 | 亜矢 | 小4 | 芥田 | 拓也 |
| 小1 | 廣岡 | 拓哉 | 小4 | 清水 | 希帆 |
| 小2 | 今西 | 陽香 | 小4 | 藤井香夏子 | |
| 小2 | 池田みわ子 | | 小4 | 古川 | 茜 |
| 小2 | 鶴山 | 大雄 | 小5 | 下村理菜子 | |
| 小2 | 未永 | 真子 | 小5 | 七田 | 美穂 |
| 小2 | 榎木剛あやか | | 小5 | 中山 | 景子 |
| 小3 | 中村 | 一太 | 小5 | 古本 | 優 |
| 小3 | 櫻井 | 副也 | 小5 | 石田 | 真紀 |
| 小3 | 木下末沙都 | | 小5 | 角 | 実怜 |
| 小3 | 藤原 | 光子 | 小5 | 山鹿 | 晃平 |
| 小3 | 永松 | 実花 | 小5 | 石橋 | 遥 |
| 小3 | 高橋めぐみ | | 小5 | 和合 | 真理 |
| 小3 | 原野 | 靖子 | 小6 | 中村 | 桜子 |
| 小4 | 知古嶋 | 彩 | 小6 | 高橋 | 梓 |
| 小4 | 山口 | 千智 | 小6 | 野口 | 久恵 |
| 小4 | 川内 | 宏美 | 小6 | 築地 | 未歩 |
| 小4 | 中谷友梨絵 | | 小6 | 西尾 | 友信 |
| 小4 | 廣岡 | 美帆 | 小6 | 藤原 | かよ |
| 小6 | 廣岡 | 美帆 | 小6 | 谷 | 美渚子 |



- | | | | | | |
|----|-------|----|----|-------|----|
| 小6 | 香月 | 佑子 | 中1 | 本田 | 亜希 |
| 小6 | 浦塚 | 賢治 | 中2 | 野口泰一朗 | |
| 小6 | 渡海 | 義洋 | 中3 | 升井 | 景子 |
| 小6 | 松井 | 恵里 | 中3 | 大鶴ますみ | |
| 中1 | 塚澤 | 智子 | 中3 | 岩木 | 綾子 |
| 中1 | 櫻井建太郎 | | 中3 | 村上 | 舞 |
| 中1 | 安達 | 有理 | | | |
| 中1 | 河原由里香 | | 金賞 | 260点 | |
| 中1 | 山本 | ユミ | | | |
| 中1 | 栃原 | 綾子 | | | |



高見(たかみ)

小高い場所だから高見である。戸畑区金比羅山の南側稜線から荒生田にかけて広がる、製鉄所官舎を中心にした住宅街。1896年(明治29)、八幡製鉄所が創立した当時、本事務所所在地だった。

官舎は高等官、判任官など階級区分が整然としており、棟割りだった。煉瓦作りの豪邸であったり、鉄は国家なりと言わんばかりの建て方である。高等官専用の社交クラブ、高見倶楽部もここにあった。

過程

人間は生きている
生きたものには、
静しがない

上らざれば、
進まざれば、
勝たねば、
負ける

われらのすべての瞬間を
向上の過程
進歩の過程
勝利の過程たらしめよ

堅忍

圧倒せられてもつづれるな
ふれつけられても
歯をかみしめてこらえておれ
苦しいに相違ない
しかし辛抱せよ
古来の英雄偉人が
みんなその境遇を通つたのだ
忍び抜け
勝つにきまつているのだから



神社 なぜ 問答

(その 28)



Q 神宮大麻はなぜ受けるのでしょうか。

A 神宮大麻は、日本人の総氏神さまとして崇められ慕われている、最も貴いお宮、神宮のお神札です。氏神さまは、身近に感じることができませんが、総氏神さまはいわば遠くに住む親のように有難さを日々実感するのは難しいものです。天照皇大神神さまの太陽の光のように暖かく、恵み多いその御神徳は、すべての人にふりそそがれ災厄から護つてくださっています。愛慮な気持ちには心を豊かにします。ご家庭で神棚をおまつりし、家族そろって日々感謝の祈りを捧げましょう。

Q なぜ、お正月にお神札を取り換えるのですか？

A 新年にお神札を取り換えることは、年の初めにあたり、新しいお神札で神様をおまつりすることにより、更なる御神威の発揚を願ひ、より一層の御神徳を戴くためです。日本の家庭では、昔から新年を迎えるにあたり、氏神さまから毎年新しくお神札を受け、新しい年の家族の幸福を祈つてきました。

また、古い「お神札」や「お守り」は今年一年を無事に過ごせたことに感謝し、氏神さまに納めまします。そして、氏神さまでは「左義長」「どんど焼き」行事等で、それらの納められたお神札を清浄な火で鄭重に焼納します。
お正月には、新しい氏神さまのお神札と、伊勢の神宮のお神札をおまつりし、清々しく、素晴らしき新年を迎えましょう。

岡田宮と厄除

厄年と称し、古くからその年は慎むべき年とされているのは次の通りです。

男女ともかぞえ年で、一才、四才、七才、十才、十三才、十六才、十九才、二十二才、二十五才、二十八才、三十一才、三十四才、三十七才、四十才、四十二才、四十四才、四十九才、五十二才、五十五才、五十八才、六十一才が厄年です。

この間特に男の二十五才、四十二才、六十一才と女の十九才、三十三才、三十七才は大厄(本厄)といわれ、それぞれ各前年を前厄(厄入)、後年を後厄(厄晴)といわれています。

これらの歳を災いの多い厄年とするのはこの年齢が肉体的にも精神的にも大きく変化する年頃で、人生の折り返し目だからです。

厄年には古来災難が多く、障りのある行動や振る舞いは慎む年であるとされています。厄年の方は、障りのある事柄をやめ、あるいは厄を転ずる手だてを講じます。

それが「厄ばらい」です。厄年にあたる人は、災いを福に転ずるために厄除のお祓いをうけましょう。

北九州の古社である岡田宮で毎日厄除の祈願祭を厳修致しております。皆様方おそろいで御参拝下さいませ。御案内申し上げます。

平成十一年の厄年

厄年(男)		厄年(女)	
二十四才	前厄	十八才	前厄
二十五才	大厄	十九才	大厄
二十六才	後厄	二十才	後厄
四十一才	前厄	三十二才	前厄
四十二才	大厄	三十三才	大厄
四十三才	後厄	三十四才	後厄
六十才	前厄	三十六才	前厄
六十一才	大厄	三十七才	大厄
六十二才	後厄	三十八才	後厄
			昭和五十二年生
			五十一年生
			五十年生
			三十五年生
			三十四年生
			三十三年生
			十六年生
			十五年生
			十四年生

・厄年大祭 二月節分日

※ 年齢はかぞえ年です。



年末年始の行事案内

● 大祓式 十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形代に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を二度吹き掛け初穂料（お思召し）と共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。



形代(表)

● 歳旦祭 一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願ひする神事。午前0時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。



● 開運福引き 一月一日～三日

一枚五百円でハズレなし。一等は自転車、羽毛ぶとんなどが当たります。新年の運だめしにどうぞ。

● 昨年の一等(敬称略)

- 八幡西区貴船台 入江恵紀
- 八幡西区菅原街 菊地和廣
- 小倉南区徳力団地 江村優帆
- 宮崎県日南市 戸高俊一

● 特別祈願祭 一月一日～七日

新しい年を迎え、家内安全、職場安全、商売繁昌、厄除開運等の特別祈願を受け付けております。皆様おそろいでお参り下さい。

● 成人奉告祭 一月十日(成人の日)

新成人のお祓いをします。

● どんどん焼祭 一月十六日(日)

古くなった縄、門松等を焼納する神事。

地元有志による餅つき、餅まき、黒崎祇園太鼓、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。

平成十二年

算賀の年祝

日本国には古い時代から人の寿命を加へゆく年の区切り区切りを慶び祝う風習があります。

この祝いを年賀とも算賀ともいいます。

どうぞご家族そろって岡田宮にご参拝され、今までの無事息災を神様に感謝すると共に更に向後の長寿安泰をお祈り下さい。

※日取は誕生日又は早めにされて下さい。

還暦	六十一才	昭和	十五年生
古希	七十才	昭和	六年生
喜寿	七十七才	大正	十三年生
傘寿	八十才	大正	十年生
米寿	八十八才	大正	二年生
傘寿	九十才	明治四十四年	生
白寿	九十九才	明治三十五年	生

※年齢はかぞえ年です。

楽しい雰囲気・明るいスタジオ

有川写真館

岡田宮内にスタジオ完備
宮参り、七五三など
撮影時、衣装無料でお貸ししています。
フリーダイヤル 0120-62-2080

写真館

PePe

北九州プリンスホテル ベベ2F
インドアプール前にオープン
各種衣装取りそろえております。
フリーダイヤル 0120-620-753